

リスクコミュニケーションに関する取組について

リスク分析の考え方に基づき、リスク管理、リスク評価を実施する関係行政機関が連携して、リスクコミュニケーションを推進している。食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、環境省では、それぞれの担当官による4府省リスクコミュニケーション担当者会議を定期的を開催するなど調整を図りつつ、従来型の一方的な情報提供にならないよう、分かりやすい情報の提供や御意見募集など双方向のコミュニケーションの実現に努めている。

前回の第17回リスクコミュニケーション専門調査会（平成17年8月31日）の開催以降、食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省が連携して実施した意見交換会は、以下のとおりである。

また、各府省が行ったリスクコミュニケーションに関する取組みを別紙1, 2, 3に示す。

1. 三府省連携による意見交換会（平成17年8月31日～平成17年9月12日）

No	開催日	会議名	開催地
		講演テーマ・講演者	参加人数
1	9月9日	食品に関するリスクコミュニケーション(輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会)	千葉県
		輸入食品の安全確保について/残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について 厚生労働省食品安全部企画情報課長補佐 広瀬 誠	260名

2. 今後の予定

開催日	会議名	開催地
9月14日	食品に関するリスクコミュニケーション(かび毒に関する意見交換会)	東京都
9月27日	食品に関するリスクコミュニケーション(農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会)	神奈川県
9月30日	食品に関するリスクコミュニケーション(魚食と健康に関する意見交換会)	石川県
10月5日	食品に関するリスクコミュニケーション(農薬に関する意見交換会)	熊本県
10月11日	食品に関するリスクコミュニケーション(輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会)	山口県

食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近（平成17年8月31日～平成17年9月12日）の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

食品安全委員会の実施する意見交換会等はありませんでした。

2. 意見募集の実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
平成17年9月8日～ 10月5日 (4週間)	マイコプラズマ・シノビエ凍結生ワクチン(MS生ワクチン(NBI))に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集	募集中
平成17年9月1日～ 10月3日 (約4週間)	「 - アミラーゼ LE399 」に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集	募集中

3. 情報の発信

時期	媒体	内容
9月1日	ホームページ	・「分野別情報：プリオン専門調査会」および「トピックス：BSE及びvCJDについて」（米国及びカナダから輸入される牛肉等に関する食品健康影響評価（委員会の議論の概要））を更新 ・「分野別情報：プリオン専門調査会」および「トピックス：BSE及びvCJDについて」（米国及びカナダから輸入される牛肉等に関する食品健康影響評価（委員会の議論の概要（英訳）））を更新
9月5日		・「魚介類等に含まれるメチル水銀に関する食品健康影響評価」のポイントについて掲載
9月8日		・「トピックス：BSE及びvCJDについて」「牛海綿状脳症（BSE）と変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）」および「高病原性鳥インフルエンザ」について（Q&A）のページを更新
9月	季刊誌「食品安全vol.6」発行	・特集「食品安全委員会、三年目に向けて」、トピックス「魚介類等に含まれるメチル水銀を考える」等

4. その他の取組

(1) 「食の安全ダイヤル」を通じた質問・報告の把握

・受付件数(平成17年8月1日～平成17年9月9日)

内 訳	8月	9月9日現在
食品安全委員会関係	13件	7件
食品の安全性関係	12件	3件
食品一般関係	16件	3件
その他	3件	0件
合 計 (うちBSE関係)	44件 (11件)	13件 (5件)

主な意見

- ・食品安全委員会が行う意見交換会は、どのような方法で参加者を募集し、実際にどのような方が参加しているのでしょうか。(8月)
- ・1,000 以上で、一定時間焼却処理した肉骨粉の焼却灰及び炭化物を肥料として利用することによる BSE 汚染リスクは無視できると評価しましたが、わかりやすく説明してください。また、肥料としての肉骨粉の利用価値等についても教えて下さい。(8月)

(2) 「食品安全モニター」を通じた意見等の把握

8月中には51件、9月中(9月9日現在)には17件の報告があった。食品安全委員会活動一般関係をはじめとして、BSE 関係など様々な報告が寄せられている。

(別紙2)

厚生労働省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近(平成17年8月31日～平成17年9月12日)の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

- ・食品安全委員会、農林水産省、千葉県、千葉市とともに、輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会(千葉市)を開催(9月9日)。

2. 意見募集の実施状況

- ・対象期間中に意見募集を開始した事項はありませんでした。

3. 情報の発信(平成17年8月31日～平成17年9月12日)

(1) 食品の安全確保に向けた取組のホームページ「食品安全情報」

食品の安全確保に向けた取組について「食品安全情報」のホームページにまとめ、情報を提供。

(2) 主な情報提供の内容

時期	媒体	内容
H17.9.1	ホームページ	第19回コーデックス連絡協議会の概要(農林水産省と共催)
H17.9.6	ホームページ	輸入届出における食品衛生法違反事例 (平成17年7月分～)
H17.9.6	ホームページ	牛海綿状脳症(BSE)の検査結果(スクリーニング検査)について(週報)

農林水産省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近(平成17年8月31日～平成17年9月12日)の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

(1) 大臣、消費・安全局との意見交換会・懇談会の開催
期間中の開催実績なし

(2) 個別テーマごとの意見交換会
期間中の開催実績なし

(3) 地方農政局等における意見交換会等の取り組み
地方農政局、地方農政事務所、沖縄総合事務局において、シンポジウムや意見交換会等の主催やパネラーや講師の派遣を実施。

「平成17年6月末現在での件数」

シンポジウムや意見交換会等の主催 全国計 176回(17年4月～)

(平成15年7月～17年3月 全国計 2,224回)

パネラーや講師の派遣 全国計 1,177回(17年4月～)

(平成15年7月～17年3月 全国計 9,784回)

2. 意見募集の実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
H17.8.30 ～9.29	遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認申請案件に対する意見・情報の募集について	(募集中)

3. 情報の発信

ホームページやメールマガジンを通じた情報提供

「食の安全と消費者の信頼の確保のための取組」

(URL:http://www.maff.go.jp/syoku_anzen/top.htm)

「食品安全エクスプレス(旧名 食の安全・安心トピックス)」「食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省の食品の安全に関する情報を毎日発信中」

(配信数: 12,216通(9月9日現在))

(URL: <http://www.maff.go.jp/mail/index.html>)